

# リーンカンファレンス2013

## ヒット商品をつくる仮説検証型開発プロセスとスキル

【日時】2013年1月28日(月) 13:00~17:30

【会場】ふくい南青山291 東京都港区南青山 5-4-41

【対象】製造業・Sier・サービスプロバイダーの  
事業責任者・管理者の方々

参加  
無料

リーンとは、トヨタ生産方式を欧米が研究する中で発展普及した経営手法です。現在では生産のみならず、開発、商品企画、事業開発にまで応用され様々な欧米のカンファレンスで成功事例が報告されています。

- ハードウェア開発を中心に活用されるリーン製品開発
- ソフトウェア開発を中心に活用されるアジャイル開発
- ザ・ゴールで著名になり開発等に活用されるTOC (制約条件の理論)
- 新事業開発で普及発展しているリーンスタートアップ

本カンファレンスでは、これらに関する専門家から最新のリーンの発展状況をご紹介します。



イントロダクション

### アジャイルからリーンへ、そしてリーンスタートアップに

平鍋 健児 株式会社チェンジビジョン 代表取締役社長 / 株式会社永和システムマネジメント 副社長

1989年東京大学工学部卒業後、3次元CAD、リアルタイムシステム、UMLエディタなどの開発を経て現在(株)永和システムマネジメントにてオブジェクト指向開発を研究、実践。XPの日本メーリングリストXP-jpを運営。酒と映画と福井を愛する。

主な監修 / 翻訳書: 「オブジェクトハンドブック2002」「XPエクストリームプログラミング導入編」「XPエクストリームプログラミング実践編」「マルチパラダイムデザイン」



基調講演

### リーンが製品開発を革新する

稲垣 公夫 グローバリング株式会社 代表取締役 / ゴール・システム・コンサルティング株式会社 顧問

リーン生産方式とは、MITウオマック教授らが日本の自動車産業の強さを探るため、特にトヨタ生産方式を研究し一般化したものです。その後「リーンシンキング」や「ザ・トヨタウェイ」など多くの書籍が発刊され、幅広い分野に発展普及していきました。これらを翻訳し日本に紹介してきた経験をもとにこのリーン生産の誕生・普及・波及の歴史と、リーン製品開発の概要(顧客価値理解とセットベース開発)をご紹介します。

**プロフィール** NEC生産技術開発部門、製造統括部門を経てアメリカ現地法人で経営企画担当副社長。アメリカ駐在時代からTOCやトヨタ生産方式を研究し本の執筆や翻訳を手掛ける。2002年からアメリカ大手EMSの日本法人社長。2010年に独立しリーン製品開発の研究に専念。2011年にゴールシステムコンサルティングの顧問に就任。主な著書 / 翻訳書: 「開発戦略は「意思決定」を遅らせる!」「TOC革命」「TOCクリティカルチェーン革命」「リーンシンキング」「ザ・トヨタウェイ」「トヨタ製品開発システム」「トヨタ経営大全①人材育成」「トヨタ経営大全②企業文化」「トヨタ危機の教訓」

#### セミナー

##### TOCを活用したヒット商品開発プロセス

西原 隆 ゴール・システム・コンサルティング株式会社  
取締役チーフコンサルタント

小説ザ・ゴールで著名になったTOCはトヨタ生産方式の研究から出発し、独特の生産管理手法を開発、多くの実績をあげてきました。その後、会計・プロジェクト管理・問題解決・合意形成など様々な分野に発展、多くの実績を残しています。TOC発展の歴史とTOC思考プロセス・CCPMを活用したヒット商品開発プロセスへの応用をご紹介します。

**プロフィール** 2003年ゴールシステムコンサルティング入社。米国TOCファームベクターストラテジー社(当時)からTOC導入方法を学び、その後国内大手メーカー、ITなどでTOC導入コンサルティングに従事。特にTOCプロジェクトマネジメント手法「CCPM」に関する豊富な理論的知識、実践スキルを持ち、インプレメンテーションの経験は日本随一である。

#### セミナー

##### バリューストリームがビジネスアジリティを加速する ~リーンアジャイルの海外事例~

市谷 聡啓 株式会社永和システムマネジメント  
サービスプロバイディング事業部  
アジャイルグループ主任

2012年8月アメリカ、ダラスにてAgile2012というアジャイルのグローバルなカンファレンスが開催されました。そこで見聞き感じたことは、海外でのリーンアジャイル開発の気運の高まりです。ビジネス要求をいかに素早くカタチにし、価値へと繋げていくか。海外事例をもとにお話致します。

**プロフィール** SIとサービス開発、性質の異なるシステム開発の経験を経て、2011年より現職。利用者にとって価値をもたらすシステム開発を追求するべく、アジャイルな開発と向き合い続けている。システム開発を取り巻く環境の改善や推進を目的に開発コミュニティ Devlove を2008年から立上げ、主催している。

Devlove <<http://www.devlove.org/>>

#### セミナー

##### リーン開発時代に求められるスキルとキャリア

渡辺 登 株式会社アフレル エデュケーションプランナー  
事業企画室 室長

リーン開発を実現する環境は充実してきていますが、これらを活用できる人材は現時点では少なく、アジャイル開発やプロトタイプングなどリーン開発で必要とされるスキルを身に付ける必要があります。今回は、これら現在求められるスキルやキャリアを醸成するための体験型研修の事例を紹介します。

**プロフィール** 沖通信システム株式会社(現:OKI ソフトウェア株式会社)に入社後、開発および開発プロセス改善に従事。2010年から株式会社アフレルに転籍し、初等教育から企業技術者まで幅広く人材育成に従事。

主な著書 / 「組込みソフト技術」「ETSS標準ガイドブック」



特別講演

### アイデアを事業に進化させる起業のサイエンス「リーンスタートアップ」

和波 俊久 Lean Startup Japan LLC 代表

トヨタ生産方式から得た多くの学びを適用したリーンスタートアップは、シリコンバレーなどを中心とするベンチャー企業文化においてベンチャー創業や新規事業開発においてスタンダードな手法となっています。講演ではリーンスタートアップの概要に加え、導入のためのヒントもタツリとお伝えします。

**プロフィール** IT企業でITサービスマネジメント及びプロジェクトマネジメントのコンサルタントを務める傍ら、数々のITサービスの失敗やデスマーチを経験。長年に渡って新規事業とプロジェクトの成功確率向上のノウハウを探るなか、シリコンバレーの最先端起業術であるリーンスタートアップと出会う。日本でもより多くの方に普及するために、2010年10月より「Lean Startup Japan」ブログを開設。Meetup やセミナーの開催、コンサルティングの提供を通じて、より多くのプログラマの起業、スタートアップや大企業の新規事業開発を支援している。

# リーンカンファレンス2013

[日時] 2013年1月28日(月) 13:00~17:30

[会場] ふくい南青山291 東京都港区南青山 5-4-41

## ヒット商品をつくる仮説検証型開発プロセスとスキル

[費用] 参加無料 [対象] 製造業・SIer・サービスプロバイダーの事業責任者・管理者の方々

[共催] 株式会社アフレル <http://www.afrel.co.jp/>

株式会社永和システムマネジメント <http://www.esm.co.jp/>

ゴール・システム・コンサルティング株式会社 <http://www.goal-consulting.com/>

[後援] 株式会社ビーイング <http://www.beingcorp.co.jp/>

WEBからの  
お申込み

直接下記URLまたは

永和システムマネジメント

<http://www.esm.co.jp/>

→ ニュース・セミナー

→ セミナー一覧

[http://www.esm.co.jp/news\\_seminar/seminar/lean-conference2013.html](http://www.esm.co.jp/news_seminar/seminar/lean-conference2013.html)

FAXからの  
お申込み

すべての欄にご記入のうえ、03-5818-7340 までFAXしてください

【お申込み日: 年 月 日】

貴社名	所属部署名
お名前 フリガナ	役職名
ご住所 〒	TEL ( ) FAX ( )
メールアドレス	

### 会場地図

東京メトロ千代田線 / 銀座線 / 半蔵門線「表参道駅」B3出口より徒歩5分



お問合せ

株式会社永和システムマネジメント

110-0005 東京都台東区上野2丁目7番7号 上野HSビル 8F

TEL 03-5818-7400 FAX 03-5818-7340